

令和4年度 第1回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議

1 参集・ウェブ・書面の併用による会議開催にあたっての意見聴取について

令和4年7月13日（水）開催の「令和4年度第1回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議」について、新型コロナウイルス感染症再拡大防止の観点から、参集型会議、ウェブ会議および書面会議の併用にて開催することとした。

書面参加の委員には、会議資料と同時に意見書用紙を送付し、令和4年7月8日（金）を期限に意見書の提出を依頼した。

あわせて、ウェブ参加の委員にも事前質問書を任意で提出できることとし、いただいた意見・質問については、以下のとおり一覧としてまとめた。一覧は、委員及び庁内委員に会議の参考資料として電子メール等で送付、情報提供する。

2 各委員からの意見

下記に、各委員からいただいた意見をまとめる。

資料番号	ご意見	回答
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議個別レベル会議について（P5）</li> <li>・令和4年度の取組計画について</li> </ul> <p>→個別レベル会議等個人情報があり、効果の開示に限界があるかもしれませんが、積極的な啓発を期待します。</p>	<p>個別レベル会議から抽出された地域課題や、個別レベル会議等における課題解決の協議内容や効果等については、高齢者を地域で支える民生委員や介護サービス事業者等と情報共有いたします。また、更なる地域ケア会議の活用へつながるように普及啓発を図ってまいります。</p>
4 別紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（4）地域ケア会議の推進について（P25）</li> <li>・令和3年度の実績について</li> <li>・令和4年度の取組計画について</li> </ul> <p>→地域ケア会議の積極的な開催を希望します。</p>	<p>地域ケア会議については、個別レベル会議、日常生活圏域レベル会議等、感染症対策を施しながら、必要な都度の開催ができるように図ってまいります。</p>
4 別紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（1）認知症サポーター養成講座事業について（P29）</li> <li>・令和4年度の取組計画について</li> </ul> <p>→企業や小・中学校等へのアプローチは、素晴らしいと思います</p> <p>企業にむけて：本事業の内容の解説に加えて、企業には、大田区の地域づくりの取組紹介や、参加依頼等の広報を併せて行うと良いと思います。視点は、大田区企業で働く人材も、大田区</p>	<p>高齢者支援は、行政のほか、区民や事業者、団体等の多様な主体が協働して取り組む必要があります。様々な方々のご参画をいただけるよう、区としても単発の取組に係る広報、啓発だけではなく、より広範な分野への関心や参加をいただけるように、アプローチの方法などを検討してまいります。</p>

	<p>の貴重な資源という観点から、大田区地域の取組に貢献して頂けたらと思います。例えば、大田区「区民協働」の取組を紹介して、興味をもつていただき、できるところから参画して頂きたいと思っております。つまり、大田区地域に住むかたから、働く方まで、巻きこんで地域づくりをしていく視点を持ち、アプローチをしていくと良いと思います</p> <p>小・中学校等にむけて：開催時等、大田区が取り組む「(3) 多様な人材の確保に向けた取組み（おおた福祉フェス等）」等の活動も紹介していき、興味をもつていただくようアプローチをした方が良いと思います</p>	
4 別紙	<p>・(1) 成年後見制度の利用促進 (P 5 4、5 5)</p> <p>・令和4年度の取組計画について →広報先のターゲット層を 当事者はもちろんのこと。追加して、当事者のこどもさん(例50歳～60歳代)にも行うと良いと思います。狙いは、はやい段階ステージの方に、この取組み(考え方)の普及を図る。加えて、その方のご両親たちに、浸透できる事も図る。広報先は、地域の掲示板、小中学校と連携してご両親宛等を考える</p>	<p>成年後見制度を含む権利擁護に関する理解と利用の促進には、ご本人はもちろん、ご家族や地域の方々、支援に携わる福祉関係者等に広く理解を深めていただく必要があると考えています。</p> <p>このため、大田区成年後見制度利用促進中核機関は、学識経験者、専門職、地域や福祉・医療の関係団体等との連携のもとで、権利擁護支援が必要な方を早期に発見できるよう大田区成年後見制度等利用促進協議会を設置しました。今後も関係機関と連携しながら、広報先、広報手段等を含む効果的な普及啓発について検討してまいります。</p>
4 別紙	<p>・(3) 高齢者虐待防止の啓発及び高齢者虐待の対応について (P 5 6)</p> <p>→高齢者への虐待は深刻な問題なので、是非関係機関内の情報共有を望みます。</p>	<p>高齢者虐待への個別対応、支援につきましては、民生委員や地域包括支援センター、介護サービス事業者等との連携を図り、適宜必要な情報共有を行ってまいります。</p>

6	<p>・「2 調査対象 ⑤未把握ひとり暮らし高齢者等訪問調査」 資料番号4別紙 (2) ひとり暮らし高齢者支援事業について (P 15) 「未把握ひとり暮らし高齢者」について情報を持っている民生委員がいますので、是非包括職員との情報共有を望みます。</p>	<p>高齢者等実態調査の一つとして実施する未把握ひとり暮らし高齢者等訪問調査につきましては、地域包括支援センター職員が担っています。区としても、支援等が必要な高齢者の方の把握が図られるよう、該当と思しき方がいらっしゃいましたら、ぜひ、情報提供をいただけますようお願いいたします。</p>
8	<p>・令和4年度の予定 について ・これからの会議開催について →これまで体得してきたオンライン活用での開催について、引き続き実施していく必要があると思います。それにより、会議にアクセスしやすい環境設定のとりくみの1つにも、なり得ると思います オンラインをはじめ ICT 活用については、引き続き、行政やこのような機会を頂いている私達が、リーダーシップのもと取り組んでいく必要があると思います</p>	<p>会議の開催方法につきましては、感染症対策の観点から、また、会議参加を容易にする手法の一つとしても、引き続き、オンラインによる方法を取り入れてまいります。ICT活用につきましては、新しい生活様式に適合した取組として普及しております。区としても皆様のご協力をいただきながら、効果的かつ効率的な高齢者支援をはじめとする行政運営に還元してまいります。</p>

### 3 各委員からの質問

下記に、各委員からいただいた質問をまとめる。

資料番号	ご質問	回答
4 別紙	<p>・(1) 高齢者見守りネットワーク事業の充実について(P 15) →見守りキーホルダー更新率アップの為、包括だけでなく区も含めて未更新者へ定期的に個別の更新勧奨、更新者には特典としてはねびょんポイントなどを付与できないか →見守り専任窓口の設置ができないか。 (効果として見守りキーホルダーの新規登録・更新勧奨のアップ、ひとり暮らし登録高齢者の安否確認、未把握高齢者の実態把握などの件数が増えるなど期待できると思う。)</p>	<p>見守りキーホルダーにつきましては、更新率の向上が課題であることから、周知、啓発方法などについて、いただいたご意見なども踏まえ、課題解決を図る効果的な取組について検討してまいります。 また、高齢者の見守りに係る体制につきましては、関係機関との連携や地域での見守り体制整備の支援などを推進しながら、状況等に応じた適正な体制構築を図ってまいります。</p>
4	<p>・(2) 地域包括支援センターの運営支援につ</p>	<p>高齢者の総合相談窓口である地域包括支援セン</p>

別紙	<p>いて（P 2 3）</p> <p>→複合課題（精神障害）などの相談に対応する上で精神科医や臨床心理士などによる相談支援を受けられないか。</p>	<p>ターにおいては、複合課題への対応も求められることから、対応力向上に向け、多機関協働、連携などによる方法を含めた体制整備について検討してまいります。</p>
4 別紙	<p>・（4）地域ケア会議の推進について（P 2 5）</p> <p>→地域住民向けに区報を活用し地域ケア会議の取組や期待できる効果などを周知、民生委員、ケアマネージャー、医療機関、介護サービス事業者向けに各包括での取組事例報告会を設け、活用を促し、開催件数の増加に繋げないか。</p>	<p>個別レベル会議をはじめとする地域ケア会議につきましては、その取組や効果などについて、高齢者を地域で支える民生委員や介護サービス事業者等への周知や情報共有などを行い、更なる地域ケア会議の活用へつながるように普及啓発を図ってまいります。</p>
4	<p>・おおた高齢者施策推進プラン 令和3年度取組状況報告について</p> <p>→この資料は、区長、役所内の報告書、区民へのアカウントビリティ等、誰に状況を開示し、理解してもらうための資料か。</p> <p>また、その目的の達成度は、十分満たされるのか。</p>	<p>取組状況報告に係る資料は、学識経験者や保健医療・福祉・地域分野、そして、区民の方々から成る大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議（以下、「推進会議」という。）にて、区の事業実施状況についてご報告し、ご意見をいただきながら、事業をより効果、効率的に推進していくために用いています。当資料は推進会議開催後に、区のホームページでも公開し、区民の方等にも広くご覧いただき、区の事業実施状況について周知いたします。</p> <p>また、プランの進捗確認や今後の高齢者支援施策等を立案する際の検討材料としています。</p> <p>報告については、毎年度、事業を全般的に総括して状況報告、進捗管理することで、区民の方等のご意見を区の事業へと反映させるなど、必要な効果を得ていると考えています。</p>
4	<p>・おおた高齢者施策推進プラン 令和3年度取組状況報告について</p> <p>→同じような内容の施策が別の施策項目でも実施されているので、統廃合した方が強力かつ合理的に実施できたとみなされた施策はあったか。</p>	<p>おおた高齢者施策推進プランは3つの基本目標、12の施策、約80の事業・取組で構成されています。施策の内容については、他の施策と相関性の高いものもあるかと思いますが、基本目標の達成に必要な施策をそれぞれに定め、また、その施策を支える事業・取組とも整合性を図っております。</p> <p>プラン策定時には、必要要素による構成として想定していますが、施策、事業・取組の展開状況によっては、次期プランの策定に向けて、効果や効率性につながる統廃合も図ってまいりま</p>

		す。
6	<p>・令和4年度高齢者等実態調査実施について →令和元年度高齢者等実態調査【高齢者一般調査】の質問項目では、問14から急にフォーマットが変わるが、質問、回答方法のフォーマットは統一感があつたほうが高齢者は回答し易く、精度も上がると思うが、令和4年度ではそういう点（フォントも）は考慮するか。</p>	<p>調査にあたっては、調査票のフォントなど高齢者の方が見やすく理解しやすい表現やレイアウトの工夫を講じる必要があると考えています。いただいたご意見を踏まえ、当実態調査にあたって調査業務を委託する事業者とともに、高齢者の方が回答しやすい、回収率向上につながる調査票の設定について検討していきます。</p>